

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第25-190330号

2013
8



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841
E-mail:honda@rid2840.jp

8月号
Vol.2

2013年8月1日発行

第2分区 A のホープ Our Hope



毎月各クラブの
若手 3 名の笑顔を
掲載しています。



桐生RC 朝倉 剛太郎



桐生RC 高橋 弘史



桐生RC 増山 大祐



桐生南 RC 石関 厚



桐生南 RC 板場 俊方



桐生南 RC 高山 淳史



桐生西 RC 今泉 攻一



桐生西 RC 栗原 秀一



桐生西 RC 東郷 学



桐生中央 RC 阿倍 浩二



桐生中央 RC 小野 真康



桐生中央 RC 樋口 一枝



桐生赤城 RC 須永 聡介



桐生赤城 RC 前原 美代子



桐生赤城 RC 三輪 哲也



「ガバナー月信」8月号目次

表紙.....01	第1回ガバナー諮問委員会報告18
目次、笑顔の会員紹介.....02	全国ロータリー野球大会報告19
ガバナーメッセージ03	パストガバナー エッセイ 矢野パストガバナー ...21
二人のロータリアンの死を悼む04	パストガバナー エッセイ 福田パストガバナー ...22
会員増強と退会防止をセットで考える05	ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」第2回...23
2013年 規定審議会詳細レポート第2回07	ロータリー日韓親善会議のご案内.....27
ロンD. バートン RI 会長エレクトによる	地区主要行事一覧および周年行事予定28
リスボン国際大会閉会本会議での挨拶10	新会員紹介.....30
リスボン国際大会報告13	訃報.....33
第5回ガバナー諮問委員会報告.....14	文庫通信.....34
ローターアクト地区指導者研修会報告15	6月出席報告35
インターアクト合同会議報告17	ガバナー月信についてのお願い／編集後記 ...36

笑顔の会員紹介

氏名	朝倉 剛太郎	高橋 弘史	増山 大祐	石関 厚	板場 俊方
クラブ名	桐 生	桐 生	桐 生	桐生南	桐生南
会社名	朝倉染布(株)	(株)ビル・メン	(株)紅白生花店	あいおいニッセイ 同和損害保険 (株)	(株)板場
職業分類	染色整理加工業	ビルメンテナンス業	生花販売業	損害保険	葬祭業

氏名	高山 淳史	今泉 攻一	栗原 秀一	東郷 学	阿倍 浩二
クラブ名	桐生南	桐生西	桐生西	桐生西	桐生中央
会社名	三高産業 (株)	(有)松井電管	(株)アルファーマ メディカル	医療法人社団 東郷会 恵愛堂病院	マニュライフ 生命保険(株)
職業分類	農業資材 卸売・小売業	管工事業	薬剤師	病院	生命保険

氏名	小野 真康	樋口 一枝	須永 聡介	前原 美代子	三輪 哲也
クラブ名	桐生中央	桐生中央	桐生赤城	桐生赤城	桐生赤城
会社名	おのこども クリニック	樋口一枝 税理士事務所	(株)スナガ	(有)前原	(有)技研造園
職業分類	小児科医	税理士	プロパンガス販売	衛生設備施工管理	造園業



ガバナーメッセージ

会員増強とは、仲間を増やすこと

2013-14 年度

ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは !!

私たちの年度がスタートして1か月が経ちました。7月には会長方針や委員会の事業計画をクラブ・メンバーに十分浸透していただいたことと存じます。現況報告書の提出期限は8月末までとなっています。現況報告書を精読して9月以降のガバナー公式訪問に備えたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、8月は「会員増強および拡大月間」です。私たちの年度がスタートした2013年7月1日の地区会員数は、速報値ですが1,877人となっています。会員数が2,000人を切った時もショックを感じましたが、遂に1,900人も切ってしまった!! 6月末には残念ながら水上ロータリークラブが解散となり、私たちの年度は46クラブでの再スタートとなりました。2840地区の未来に「希望」はあるのでしょうか。

「会員増強」“Membership Development”の本旨は、会員組織の強化・充実であり、クラブの活性化、すなわち組織活力を高めてゆくことであると申し上げました(5月26日:地区会員増強セミナー)。会員組織の強化・充実を図るクラブでの具体的な行動(魅力的な例会プログラム、会員のロータリー理解を深める研修や卓話、クラブをもっとよくしていきたいという気持ちや新会員勧誘に向けての意思統一と行動等々)が、結果として会員数の増加につながります。

また、「会員増強」は、会員増強委員会だけに任せるのではなく、クラブ会長とクラブ指導者がリーダーシップを発揮して、クラブ全体、そして年度を越えて継続的・長期的に取り組むべき、クラブの最重要課題でもあります。

私は、10年前、地区の会員増強・退会防止委員長を拝命したとき、「会員増強」の意義についてあれこれと考えを巡らせたことがあります。今はシンプルに「会員増強とは、仲間を増やすことだ」と考えています。「奉仕」“Service”とともに私たちが大事にしてきた「親睦」“Fellowship”という言葉の原義は、「仲間であること」です。例会や奉仕活動を通じて交流を深めることで、生涯を通じての友情や仲間意識＝“Fellowship”が育まれます。そういう仲間を増やすことに反対する人はいないと思います。

私のガバナーとしての願望(野望?)は、**年度末に46クラブすべてが、純増を達成すること**です。

今月の「会員増強」特別月間が、クラブ会員の「会員増強」＝「仲間を増やすこと」に対する意欲を喚起し、意思統一する月となることを期待しています。



追悼

二人のロータリアンの死を悼む

ガバナー 本田 博己

桐生南ロータリークラブの川堀良治さんの訃報をお聞きしたのは、リスボンの国際大会から帰国した6月28日のことでした。川堀さんはロータリーを通じて得られたかけがえのない友人でした。私と同年齢での早すぎるご逝去に心が痛み、悲しさが募ります。

生前、川堀さんが「県外出身者の私が、地域社会（桐生）に受け入れられたのは、ロータリーでの交友のお陰です」としみじみと語っていたことが思い出されます。実際、川堀さんはクラブでの奉仕活動や地区の役員としての活動に熱心に、そして誠実に取り組まれていました。

川堀さんが闘病中で体調が必ずしも万全ではないことは承知していましたが、私は、私のガバナー年度の「地域社会奉仕委員会 委員長」就任を懇請しました。川堀さんの実績とロータリーに対する姿勢が、私たちの年度の組織編成には欠かせないと考えたからです。

川堀さんは、ご家族や桐生の仲間のロータリアンともご相談され、熟慮の末委員長就任を受けてくださいました。「任を全うできるかどうかわからないが、精一杯務めます」と。年度の終了まで一緒に地区運営に携わることは叶わなくなりましたが、私の心は川堀さんとともにあります。

川堀委員長のお名前を当年度の地区組織図に留め、川堀さんのロータリーの最後のお仕事として記録に残します。先日、川堀さんのお宅にお伺いし、委員長の委嘱状を霊前に捧げてまいりました。

川堀良治さん 2013年6月24日逝去 享年63歳

福島第一原発の吉田昌郎 元所長が闘病の末亡くなったという報道がありました。まだ58歳の若さでした。

吉田さんは、帰宅困難区域の浪江町を所在地とする浪江ロータリークラブの元会員でした。吉田さんについては、2008年当時、設備管理部長として想定される大津波への対策をとらなかった、という指摘もありますが、第一原発の事故後、文字通り命を削って、リーダーシップを発揮しながらその職責を果たした功績は多大です。吉田さんは、福島第一原発の所長として復帰することを最期まで強く望んでいたそうです。「高潔性」「Integrity」を体現された、見事なロータリアンであったと思います。

吉田昌郎さん 2013年7月9日逝去 享年58歳



会員増強と退会防止をセットで考える

パスト・ガバナー

会員組織強化委員長 牛久保 哲男

今月は会員増強月間です。各クラブでは何らかの形で会員増強の為の対策について話し合いがなされていることと思います。

さて、2840 地区全体の現状及び過去の会員推移を考えてみたいと思います。2012 年初の会員数は 1911 名でしたが 2013 年度末ではついに 1900 名を大幅に割ってしまい 1877 名になってしまいました。未だに我が地区は会員減少傾向に歯止めができない状態です。その原因は各クラブの事情や RI や地区にも問題があると思います。しかし、そのことをもって良しとするわけには行かず、会員の多くの人が増強や退会防止対策の必要性を考えていることと思います。因みに 2009 年度から 2012 年度までの4年間の地区の会員の増減は下記の通りです。

	年初会員数	入会者	退会者	年度末会員数
2009 - 2010 年度	1952	132	132	1952
2010 - 2011 年度	1952	89	139	1902
2011 - 2012 年度	1902	132	123	1911
2012 - 2013 年度	1911	79	113	1877

3月の PETS より始まり地区協議会、会員増強セミナー、会員必携等でそのつど会員増強と退会防止についての必要性とその対策や施策について述べてきました。各クラブにおきましても色々な考えのもとに対策を立てているものと思います。自クラブの数年間の入会者数と退会者数を掴んでいるでしょうか。

自クラブの過去の実績はそのクラブの傾向を示しているものであり、またそれがそのクラブの力だと思っています。私の所属する伊勢崎クラブは 2000 年度の会員数は 74 名でした。それから 2012 - 2013 年度までの 12 年間に 65 名の入会者と 67 名の退会者があり現在 72 名の会員数です。このことから察すれば我がクラブでは年平均 5,6 名の退会者があることが読めますので何らかの退会防止策を立てない限りは純増するためには 6 名以上の入会者が必要です。2012 年度は結局 2 名の増員と 4 名の退会者により 72 名となってしまいました。退会を防止することは大変難しいことであり、その数を予測することはもっと難しいものです。ですから増強によって解決をするしかないと思います。増強することは我々の努力によって達成できる可能性はあります。

各クラブの皆さんは自クラブの会員推移を把握して自クラブの傾向を見て計画を立てるべきです。地区の傾向としては年度末の6月の1ヶ月だけで年間退会者の40%位の退会者が出ています。このことから会員増強計画は12月までに70%くらいは達成しないと年度内達成は難しいと思いますし、退会者の予想を自クラブの傾向から推察しておくことが必要ではないでしょうか。退会防止はこれまでのクラブ運営を見直す必要があると思います。このことは大変重要なことであり、なんらかのクラブ改革をしなければ今まで通りの会員数で満足するしかないと思います。会員増強はそのクラブの活力であり、退会防止はそのクラブの知恵です。どうか成果のある活動を実施されますことを期待しております。私も期待に添えるよう努力したいと思っておりますので忌憚のないご意見やご示唆をいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

上毛新聞7月17日掲載記事



「存在価値高める」 国際ロータリー
本田ガバナー来社

県内46のロータリークラブで構成する国際ロータリー第2840地区のガバナーに就任した本田博己さん(63)が16日、前橋市古市町の上毛新聞社を訪れ、渡辺幸男社長と懇談した。

本田さんはインドでのポリオ撲滅活動や県内各地での地域貢献活動、青少年の活動支援などロータリークラブがこれまで取り組んできた活動を紹介した。今後については「活動の見直しと強化を図りたい。県内各クラブが存在価値、公共イメージをそれぞれ高めていくことが大切」と語った。

地区幹事の板垣忍さん(61)と共に来社した。1日に就任し、任期は来年6月末まで。県内には1900人の会員がいる。

「活動を強化することが会員増にもつながる」と語る本田さん(左)と板垣さん

2013年規定審議会 主な立法案採択の経緯 詳細レポート 第2回



出席規定に関する立法案

2013年規定審議会代表議員
パスト・ガバナー 曾我 隆一

制定案13-12

出席規定に奉仕の要件を含めるよう改正する件

提案者：第9520地区（オーストラリア Norwood RC）

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する。（手続要覧 251 頁 アンダーライン部分が追加される）

第9条 出席

（第1節の序文の段落のいずれかを選択する）

第1節— 一般規定。各会員は本クラブの例会に出席し、本クラブの奉仕プロジェクト及びその他の行事や活動に参加するものとする。会員がある例会に出席したものとみなされるには、その例会時間の少なくとも60パーセントに出席するか、または、会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなった場合、その後その行為が妥当であると理事会が認める理由を提示するか、

または、次のような方法で欠席をメイクアップしなければならない。

第12条 会員身分の存続（手続要覧 254 頁）

第4節—終結—欠席

(a) 出席率。会員は、

- (1) 年度の各半期において、メイクアップを含む例会出席率が少なくとも50パーセントに達しているか、クラブのプロジェクトおよびその他の行事や活動に少なくとも12時間参加していなければならない。または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。
- (2) 年度の各半期に開かれた、本クラブの例会総数の内少なくとも30パーセントに出席、またはクラブのプロジェクトに参加しなければならない（RI理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする）。

会員が規定通り出席できない場合、その会員身分は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、終結することがある。

今、RIはじめ世界のロータリアンの目線は限りなく新世代（今回、青少年に改正）に向けられており、所謂ジェネレーション・ギャップをどう埋めていくかが関心事である。

制定案13-12の提案理由は、新モデル・クラブの運営や、学友を既存クラブに入会させる試み



の経験（パイロット・クラブ）を通じて、若い年齢層の文化に合わせた出席要件の改正が必要ということである。主張を見ると、若い会員候補者は「奉仕活動」、特に、人道的分野に関心が高く、旧来型の費用のかかる、改まった例会に出席するよりも、プロジェクトへの参加を通じて他のロータリアンと交流ができ、ネットワークが形成されることを望んでいる。特に、ITを使つての意思決定が当たり前となっており、通常例会に重きを置くことからの脱皮を図ろうとするものである。（Eクラブの台頭も同一線上）審議会では「クラブ奉仕プロジェクト」に加え、「その他のイベント・活動も含む」との修正案が出され、賛成340、反対165で修正採択された。その他の中には家族遠足等のエクスカージョンも入ることになった。

従って、ロータリー家族を含めた幅広い親睦活動も出席要件を満たすものとなったのは、メリット・デメリットの両面をもつことをクラブ・リーダーは理解しておかねばならない。そのためには、普段からクラブ会員の世代間のニーズギャップの認識と如何にバランスを取って対応するかがポイントと思われる。

ロータリーの例会は人生道場との信念が強いシニア・ロータリアンからはロータリーは一体、何処へ行くのだ、とのご意見が出るだろう。例えば、12時間の例会以外の活動の時間管理を誰が判定するのだ、といったことも不明確である。

「理由ある欠席と出席記録」

制定案13-22

出席規定の免除の規定を改正する件

提案者：第5020地区（カナダおよび米国）Chehalis R.C U.S.A

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する。（手続要覧 252頁 アンダーライン部分が追加される。）

第9条 出席

第1節—出席規定の免除。次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。理事会の承認する条件と事情による欠席の場合。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。このような出席規定の適用の免除は、最長12ヶ月間までとする。ただし、健康上の理由から12ヶ月間を超えて欠席となる場合は、理事会が改めて、当初の12ヶ月のさらに一定期間の欠席を認めることができる。そのような健康上の理由による欠席は、クラブの出席記録上で欠席として算入されないものとする。

世界中のロータリアン（日本も）は、私見だが大変元気な方が多い。しかし、年と共に高齢により病気に罹りやすくなるのも致し方無い事実である。

賛成415、反対95で採択。



制定案13-23

出席規定の免除の規定を改正する件

提案者：第5810地区（Plano R.C Texas 他4地区より）

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する。（手続要覧 252 頁 削除箇所は抹消線）

第9条 出席

第3節—出席規定の免除。次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (b) 年齢が65歳以上の会員で、かつ、一つまたは複数のロータリー・クラブ歴と本人の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面でもって、クラブ幹事に通告しね理事会が承認した場合。

一般に「85規定」と呼ばれる出席免除規定だが、2010年規定審議会で会員は65歳以上でなければならないと変更された。しかし、現況は65歳を待たずにリタイヤーするロータリアンも多い。リタイヤー後の人生設計上この規定があると退会してしまう人もでてくること、指摘されてきた。

反対意見として、合計100年にすべきとの真逆の修正動議も出たが、いずれにしても、3年ごとの規定審議会でコロコロ変わってしまうのは大きな問題であるとの声も挙がった。

他の立法案についても同様なことが起きた。（五大奉仕の新世代が青少年奉仕に戻った）

結果は、賛成377、反対132にて採択となった。



ともに行動しよう。もっと強いロータリーを つくり、もっと住みよい社会をつくるために

ロン D. バートン RI 会長エレクトによるリスボン国際大会
閉会本会議での挨拶 2013.6.26

国際大会の最後にご挨拶出来るのを大変光栄に存じます。

世界中から、数万人の人々がここに集ったのは一つの理由、それはロータリーの共通認識“service above self”によってです。(会場大きな拍手)

私達はこの4日間互いの経験を共有し、その成功例を学び合いました。私達はもっと多くの事を成し遂げようとここに集っているのです。ロータリアンであることは本当に素晴らしいことです。

26年前、私は地区ガバナーエレクトとしてミュンヘン大会に出席しました。

私達エレクトはそこからロータリーの歴史で最も大きく素晴らしいポリオプラスのプログラムに取り掛かったのです。今までやったことのない最大の募金活動をしてこの地球上からポリオを撲滅しようと計画しました。それは全く未知の領域です。今思うと、これがこんなに時間がかかるものだとは思いませんでした。それは、短距離競走でもなくマラソン競技以上でした。しかし、マラソンランナーは長くて厳しいレース程、ゴールが見えた時、テープを切る時に大きな喜びと誇りを感じます。私達はポリオプラスで多くの事を学びました。ポリオについての知識は勿論、私達自身やクラブ、地区、そして国際ロータリーに何が出来るのかその力を知ったのです。そして、高い目標を持てば持つ程、もっと多くの事

が達成できることを知りました。私達がいつも高い目標を持つのはそのためです。私は、私の年度が、ポリオとの戦いに勝ち、財団の新しい時代を迎えるというロータリーの歴史の中で最高の経験をした年となると信じています。

新しい財団のシステム、未来の夢計画が7月1日から始まります。これは財団の新しい時代の幕開けです。私達は今まで以上に柔軟性に富んだ対応が出来るようになり、より長期的なより大きなプロジェクトを実践できます。それはロータリーの手を離れても効果が持続します。この新しい未来の夢計画がどんなに立派で強力なものであっても、これを実践するのは私達ロータリアン一人ひとりです。

今年度、私は、ガバナーエレクトの皆さんに、個人としての寄付をお願いしました。それが達成できたのです。世界中の537人のガバナーエレクト全員が協力してくれたのです。次いで、クラブ会長エレクトにも同じお願いをしました。全員とはいきませんが11,000人(およそ34,000クラブ中)のクラブ会長エレクトが応じてくれました。この総額は490万USドルにもなりました。

寄付をされた会長エレクトの中には、寄付をするのが始めての人もいました。

しかし今、彼らは財団が自分達のものであることを実感できたのです。私は全ての会員にここで同じことを言います。もっと多くの方が参加



してくれれば、尚一層財団を強力にすることが出来るのです。

そして、ロータリーで奉仕すればするほど、自分の人生を豊かに出来るのです。挑戦しましょう！そうすれば全員が真のロータリアンになれるのです。

ロータリーの素晴らしさは誰でも味わえます。私達一人ひとりに沢山の奉仕の機会があります。その機会は、財団のプロジェクト、識字率の向上のプログラムや青少年交換などです。ロータリーに挑戦すれば真のロータリアンになれるのです。ロータリーを実践すれば心が温かく豊かになります。ロータリーの魔法に掛るのです。自分は何故ロータリアンになったのだろうと問いかけてみてください。それはあなたがロータリーを愛しているからです。

つまるところ、人生が最も豊かになったのはあなた自身なのです。

そこで私は 2013-2014 年度 RI テーマを “Engage Rotary, Change Lives” としました。

ロータリーの会員数はこの 15 年間 120 万人であり変わっていません。

私達はロータリーの発展のためには新しい会員を増やすことがどんなに大切か語って来ました。しかし、実際は毎年 12 万人もの多くの会員が入って来ます。

でも何故増強出来ないのでしょうか。それは毎年 12 万人の人が正面玄関から入り、同じ 12 万人が裏口から出て行くからです。

それは、バスタブに栓をしないで水を張ろうとするのと同じ事です。そんなことをしても何の役にも立ちません。

2015 年までには、会員数を 130 万人にしましょう。それは絶対に可能な目標です。もし、新しい会員を入会させたら辞めさせないようにしなければいけません。そのためには、新しく入った会員にはロータリーを実践させてください。そして、女性会員を増やす様に努力しましょう、もっと、色々な人々に入ってもらいましょう、年齢的にもあらゆる世代を。彼らが満足して、いつまでも留まる様にしなければいけません。例会の時間や場所に柔軟性を持たせ、家族も参加してもらい、子供を例会に連れてくることも歓迎しましょう。

すべてのロータリアンはロータリーに入った理由が違います。しばしば、入った時の理由と今居る理由は違っているものです。私達はロータリーの会員からロータリアンになることを経験してからここに居るのです。

あなたのロータリアンになった感覚・気持ちがどんなものであったか、それを私（パートン）はあなたと共有したいと思いますし、それを知らない人達にもその気持ちを伝えることをお願いします。

もし、今私達が変わらなければ後悔するという事だけは伝えます。今の会員は殆どが中年か老人です。もし、若者を入れなければ私達がいなくなるとロータリーも消滅します。ロータリーは中年の人達のものではありません。1905 年にポールハリスはロータリーを作りました。彼は同じ考えの人を集めました。

その人達は同じ事に関心を持ち、同じ目標と同じ理念を持っていました。ロータリーでは、すべて同じである必要はありません。今、ロー



タリーは様々なもの、多様性を必要としています。この部屋を見回してください。色んな国の人、色んな言語、職業・経歴・宗教も違います。そして、それぞれが違ったロータリーの物語を持っています。ロータリーにはあらゆる人がいますし、それぞれが違った才能を持っています。ロータリーは人生のどんな時期でも、どんな職業の人にも取り組めるようになっています。一層多くの行動をさせてくれて、一層多くの生きがいを与えてくれます。何故ならそれがロータリーの役割ですし、ロータリーが私達に与えてくれるものなのです。

2013-14 年は変革の時です。私達は今週こ

の大会でそれを確かめました。

この大会が終わった後も、ここで学んだ素晴らしいアイデアを忘れないで、ロータリーの奉仕に邁進しましょう。

今こそ私達一人ひとりが行動する時です。私達には、ロータリーに没頭し、学んだアイデアに導かれ、周りの人々をも巻き込んで勇気づけるという仕事があります。一緒に行動しましょう。もっと強いロータリーを作り、もっと住みよい社会を作るために。

“ロータリーを実践し

みんなに豊かな人生を”

(訳文 RI2680地区ガバナー 大室 儒さん)

リスボン国際大会報告

感動の国際大会！そして「オンツースドニー」へ

2012～2013年度公共イメージ委員長 井上 芙美子

2013年の6月23日～26日にポルトガルのリスボンにて第104回国際大会が開催されました。大会の登録総数は19,717人でした。国際ロータリー2840地区ではロータリアンが34名と奥様が7名の方の参加がありました。

ポルトガルの面積は日本の約1/4と小さい国です。人口は約100万人、首都リスボンの人口は約50万人。国際大会場は、「リスボン国際見本市会場」でした。ポルトガルと日本とは、1542年以來の友好の歴史があります。この年にポルトガル船が強風の為、航路を逸れてしまい、日本の種子島にやって来たのです。ここから、平和的で豊かな関係がポルトガルと日本に生まれたのです。

リスボン国際大会のテーマは、「平和の港」です。そして、「平和」は500年に及ぶ日本とポルトガルの交流のテーマとなってきたように国際大会のテーマとなりました。田中会長の奥様をはじめとして、子供たち、お孫さんと14名のご家族の方が出席され、田中会長もとてもうれしそうな様子でした。

「友愛の家」では、旧友との再会、また新たな出会いがあります。奉仕プロジェクトのブースを訪れてアイデア交換をしたり、ロータリーの最新出版物が見られるほか、次年度の国際大会への登録も行うことができます。

リスボンの街は、ほとんど観光で成り立っているようです。アルファマ地区に立ち寄ったのですが、リスボンは250年に1回、大きな地震がきて、街のほとんどは壊滅状態となりアルファマ地区だけが地震の被害にあわなかった所でした。街並みは古くあまりきれいではなく、土がなく、ほとんど石畳で非常に歩きにくい所でした。でも、いろいろな建物はタイル造りで西洋絵画に見るような物でした。ジャカランタという紫の花が咲いていたのですが、ギターのもので有名だそうです。

24日に疋田ガバナーを囲んでの夕食会(2840地区ナイト)が開かれ、リスボンは今、いわしが旬でいわし料理を食べたり、哀愁に満ちたファド音楽にひたることができました。とても皆様リラックスして、楽しい夕食会でした。

来年、本田ガバナー年度はシドニーで国際大会が開催されます。(2014年6月1日～4日)是非皆様、1人でも多く参加し、国際大会の言葉では表せない素晴らしさを体感してください。オンツースドニーで楽しみましょう。



第5回ガバナー諮問委員会報告

足田年度最終の諮問委員会開かれる

地区幹事 松島 宏明

6月15日に桐生プリオパレスにおきまして第5回（足田ガバナー年度最終）のガバナー諮問委員会が実施されました。

例年この時期の諮問委員会は、新旧引き継ぎ会の前段に設営されており、6月の後半に設営されるケースが多いのですが、本年度は6月終盤に国際協議会（於：リスボン）が実施されるため、月半ばの15日の設営となりました。

【報告事項】

- 1、2012－2013年度地区主要行事報告
- 2、2012－2013年度地区内周年行事報告
- 3、地区会員数報告（過去10年会員数月別推移）
- 4、2012－2013年度地区会計収支計算書予定書
- 5、地区に関する採択立法案件の報告
- 6、ロータリー平和フォーラム広島の報告
- 7、その他



【別紙資料】

ガバナー補佐・地区委員長年間活動報告

会計報告は、次回本田年度の第一回諮問委員会に向け、6月仮締め報告を提出することとさせていただきます。

【諮問事項】

- 1、2013－2014年度（本田年度）運営方針の件
諮問事項は本田ガバナーエレクトより提案がなされ、多くの応援の声をいただく中、今後の課題も見据えスタートする決意を感じました。





ローターアクト地区指導者研修会報告

all in for 2840
～ 1 人 1 人が思いを伝える事で 2840 地区の新たな 1 歩となる～国際ロータリー第 2840 地区ローターアクト
2012-2013 年度地区ローターアクト代表 柴崎達也（前橋 RAC）
地区指導者研修会実行委員長 矢野志織（藤岡 RAC）

2012-2013 年度最後の地区行事、第 13 回地区指導者研修会を 6 月 16 日（日）群馬県庁昭和庁舎にて行いました。

地区指導者研修会は次年度の地区・役員（地区代表・地区幹事、地区役員、クラブ会長・幹事、クラブ各委員長）にその責務について教え、クラブ指導者としての意欲を与える会ですが、今回は次年度の地区・クラブ役員だけではなく、2840 地区アクター全員に声を掛けました。それは、次年度役職に付かないアクターも今後役職に付いた時に、本研修を受けることで生かせる事、参考とする事が増え、活動の幅が広がると思うからです。また、ロータリアンの皆様にもお声掛けさせていただきました。ロータリアンの皆様からアクターとは違った目線で様々なご意見を頂く事ができ、アクターにとって良い刺激となり、とても勉強になると思ったからです。当日はロータリアン 13 名、アクター 33 名の計 46 名の方にご参加頂きました。

今回、地区指導者研修会の趣旨を「伝え方」とさせて頂きました。2012-2013 年度は「We are all together ～すべてのチカラをひとつに～」というターゲットのもと、すべての地区行事を 2840 地区全体で行ってきました。私は個人が集まってクラブとなり、クラブが集合して地区になると考えます。そして地区内みんなのチカラを合わせて一つの事を成し遂げようとするには、その個人個人の思いが必要となってきます。その思いをどのように伝えるか。そこで重要なのが「伝え方」です。その「伝え方」を本研修会で学ぶことにより、個人個人の成長、クラブの活発化、曳いては地区の活性化に繋げることが目的です。

本研修会は講演会と研修プログラムの 2 部制で行いました。ご講演はガバナーエレクトの本田様より、『魅力あるローターアクト・クラブを創ろう！』のテーマのもと、ロータリーについて学び、アクトについて改めて知る事が出来る内容で、とても勉強させて頂きました。その中に「仕事で例会に行けないのは言い訳。来たいと思わせる魅力ある例会にしないと」といった言葉がありました。行ったら楽しい！と思える例会を行う事で出席率が高まり、クラブの活性化に繋がると感じました。研修プログラムは 2 つに分け、両プログラム共ロータリアンとアクターの混合グループで行いました。ロータリアンの皆様

におかれましては、率先してご参加頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。
最後になりますが、今後も私共ローターアクトに温かいご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



インターアクト・顧問教師・ロータリアン合同会議報告 連携を図り、インターアクトを盛り上げよう！

インターアクト委員会
委員長 高井和雄

1、日時 2013年7月6日（土）

2、会場 高崎商科大学

3、出席者

インターアクター	31名（14校）	顧問教師	22名（14校）
ロータリアン	22名（15クラブ）	地区役員・委員	5名
高崎南RC	10名	学校・大学関係者	32名
			合計 122名

4、討論内容

①インターアクトの広め方

②インターアクト年次大会当番制について

①については本田ガバナーが挨拶の中で提唱 RC とインターアクト活動の連携について話されたように、様々なインターアクト活動を行っていく際には、提唱ロータリークラブとも連絡を取り合い、助言をもらいながら行っていけば（例えば新聞・テレビ等の媒体に話してもらい、合同で事業を行う云々）広めることが出来るのではないかと、また一つのインターアクトクラブだけではなく他の学校と共同で行うことも学校間の理解や活動に弾みがつくのではないかと等の意見が出されました。②についてはロータリアンから合同会議・年次大会のマニュアルを地区で作成して、それに基づいて計画できれば準備をし易い等の意見が出されました。

②については遡ると2001-2002年度の清年度の合同会議でも出ていたことなので次年度より実現できるように地区としてもマニュアルづくりをしていきます。最後に今までの年度ごとのテーマを知りたいという質問もありましたので、合同会議のまとめの中で書類をお送りします。



第1回ガバナー諮問委員会報告 マイナスイオンの森の中でプラス思考を！

地区幹事 板垣 忍

7月13日、清々しい青空の下そして若葉溢れるプラスランド「音羽倶楽部」にて本田年度第1回ガバナー諮問委員会が開かれました。

足田直前ガバナー、本田ガバナー、竹内ガバナーエレクト、生方ガバナーノミニーとそれぞれの立場からご挨拶をいただき、心地よい緊張感の中での開催となりました。

【報告事項】

地区大会報告<過去8年度会員数月別推移>

ロータリー財団寄付明細<2012.07.01～2013.06.30>

米山記念奨学寄付明細<2012.07.01～2013.06.30>

地区予算の件

ガバナー公式訪問・公式行事日程表

地区主要行事日程表

委員会活動報告

地区大会の件

2011・2012年度 国際ロータリー及びロータリー

財団在日委員

ロータリー研究会の報せ（告知）



【諮問事項】

2016年規定審議会代表議員選任の件

2012・2013年度（足田年度）決算について

2012・2013年度（本田ガバナーエレクト年度）

決算について



【その他】

2016・2017年度 地区ガバナー候補者推薦のお願い



全国
ロータリー
野球大会
報告

憧れの甲子園と友情に感謝

前橋 RC 野球部監督 都丸 和俊

我が前橋ロータリークラブは今年 60 周年を迎えるダイヤモンドクラブです。現在、積極的なクラブ参加と会員満足度の向上へと様々な新たな活動に取り組んでおります。今回は我が野球部が憧れの甲子園で長年の夢を叶えた報告を寄稿させていただきます。我が前橋 RC 野球部は 2006 年にこよなく野球を愛する吉田恭三名誉会員と共に甲子園へ行こう！と選手を集い設立されました、以来 2009 年に全国ロータリークラブ野球大会出場のキップを得たのですが、皆様もご記憶の通りその年は日本全国新型インフルエンザ騒動で、我々も苦渋の選択の末残念ながら大会参加を辞退しました。2011 年には東日本大震災で全国ロータリー野球大会も中止、昨年3度目挑戦で、前夜祭にはコミショナーから歓迎祝福のご挨拶を頂きましたが、翌日雨の為試合中止で甲子園グラウンドに立つ事が出来ませんでした。我がクラブの甲子園出場逸話は群馬県内各ロータリークラブ野球部でも瞬く間に広がり、前橋北 RC・沼田 RC も我々も一緒に甲子園へ行こうと結束し、夢の舞台に 3 クラブ揃って出場する事が出来ました。（雨が降らなかったのは前橋北 RC・沼田 RC のお陰？）勝敗は3クラブ共に残念な結果でしたが、前日出場した富岡ロータリークラブは勝利しております（全国ロータリー野球大会HP参照）

今大会の号外ニュースは我々前橋 RC 対高岡万葉 RC の試合、4対2でリードしていた前橋 RC エース岡部幹雄投手から逆転駄目押しとなるレフトスタンドへのホームランを3番稲谷嘉則（新湊高校球児・日体大）選手から打たれた事です。今年第 30 回となる全国ロータリー野球大会歴史の中で史上初のスタンドインのホームランとして記録に残され大会本部からも認定証が発行されました。

勿論打たれた岡部幹雄投手（前橋高校球児・東大）も悲劇のヒーローと言うより憧れの甲子園で永遠に剛腕投手として歴史に刻まれたのであります。

人は平等に歳を重ね互いに体力の衰えを感じますが、ロータリークラブ野球部の夢は永遠に続きます。今日までご支援応援頂きました皆様に感謝・・・。





	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	鴻	長	狩	都	大	平	藤	岡	片
前	橋	田	谷	野	丸	橋	出	野	部
	桐	7	6	8	2	3	5	9	1
	4	8	6	2	3	9	DH	7	4
	5	P							
高	岡	井	長	稲	丹	宮	喜	川	樋
万	葉	上	良	谷	保	田	多	端	口
									井
									瀬





パストガバナー エッセイ

絵 について

パストガバナー 矢野 亨
(2002 - 2003 年度ガバナー)

若い時から「決して絵筆を持つ職業には就かない」と内心決めていた。しかし、絵を見るのは好きで、一日中ブラブラと絵を見て過ごすことは楽しみでもあった。

永年勤めていた日本医師会の常任理事を辞めてから、何となく絵筆を持つてみようかなと思った。

ちょうど奨める人があって、隣町の足利市に春陽会の老先生がいたので、先生が亡くなるまで、一カ月に一回の割で作品を見て貰った事があった。

私は、旧制松本高校の出身で、当時は一次合格者に全員レントゲンの間接撮影をやる学校が多かったが、未だ松本は聴打診だけで、異常のある者だけがレントゲンをとることになっていた。私は幸いなことに合格出来た。

その後、喀血と腸結核があり、人様が三年で卒業するところを、ストマイやパスのお世話になって、全治に五年かけて卒業出来た。

松本は日本アルプスをはじめ、山に囲まれた都市で、寮歌も山の讃歌が多かった。私は山へ登ることは出来ず、見る限りの「山の遠望」のみであった。

「富士の絵」、「夕焼けの伊香保」、「日照の榛名山」等々。最近スイスへ行った連中が「ユンゲルフラウ峰」の写真を送って来たが、意外と噴火口がデカイのに驚いた。

描いているうちに「何か足りない」ことに気が付いた。山に登る時、汗水垂らした男の映像、その付近の山の連峰がないことに気付いた。

これはとても無理なことである。では、花でも描くか。花も季節があり、千変万化する。

さて、何時まで描いておれるか？



パストガバナー エッセイ

広瀬川湖畔に賑わいを

パストガバナー 福田 一良
(2010 - 2011 年度ガバナー)

広瀬川河畔に近い馴染みの居酒屋は、いつもの顔触れの老人たちが意味のない虚言や下らぬ人生訓話を酒の肴に口角泡を飛ばして日頃の鬱憤を解消しているオアシスだ。この日は珍しくいつも屁理屈と嫌みを振り撒く彼が、前橋の広瀬川河畔は我が郷土の資産でありこれを公共的な文化芸術への更に磨き上げ「まちづくり」の一策になれないかと次のような苦言を口にした。

「企業は自らの利益を生み出してくれる場所に、何らかのお返しをしなければならない」と。前橋の中心部を流れている広瀬川は長い歴史と文化を私たちにもたらしてくれた他にない貴重な財産（宝）だ。それを更に磨くことにより地域が豊かになり、そこに住む人々が潤いのある質の高い生活を営むことになれば居住者も増え、地域の活性化に寄与し、また美しい景観や食文化が先端産業を呼び込むことになる。正にその通りだと大いに賛同した。私は心通ずる仲間と共に「市民が広瀬川を親しめる街づくり」に意欲を覚えた。街づくりはまず現場に足を運び、人の話を聞いて回るのが鉄則との教えに従い、足繁く河畔を散策し楽しい街づくりの構想を練った。

広瀬川は市の中心をゆるやかに流れ、その道は川のせせらぎとヤナギの青葉、春にはサクラ、そして多くの詩碑が楽しめる。「水と緑と詩の町」のキャッチフレーズ通り、憩いの場・癒しの場・市街の景観として非常に優れていると思う。広瀬川河畔は農林水産省の「疎水百選」や前橋市の広瀬川河畔緑地公園に選定されている。しかし市民であってもその存在を知らず、散策したことがないという人は少なくない。河畔緑地公園や文学の小道探訪コースがあるのに、四季にわたる風景を楽しみながら歩き、近くにある店などを活用されていないように思われる。

近年、交通の発達により建築や街づくりが中心地に背を向け近郊・郊外へと開発が進んできているのが、一方では各地で“水辺の建築・街づくり”に取り組み、人を呼び込んでいると聞く。国土交通省河川局も“賑わいのある河畔空間の創出”“河川整備と街づくり”の支援制度を推進している。広瀬川は古くは江戸と舟で往来し、船運で栄えた歴史があり、長い年月を経て刻まれた「まち」の伝統が息づいている場所は地元の誇りであり、十分に魅力のある空間であるだろう。広瀬川の持つ癒しや和みに誰もが気軽に親しめる滞留スペースや店舗を誘致し、市民のみならず他市からも訪れたいくなるような街づくりを目指し、その第一歩とし本年7月14日猛暑の中、折しも歴史的意味のあるフランス建国記念日に行われるパリ祭りに因んで、広瀬川の魅力伝えようと「広瀬川アート散策スケッチ大会」を企画・実施した。大勢の市民に応援いただき、これからもあらゆる姿を模索し力強く「街づくり運動」を推進することも一興だと思ふ。



ガバナー・コラム **ロータリーの誤解・正解** シリーズ〈第2回〉

第2回「奉仕の理想」ってどういう意味？ そして、「超我の奉仕」とはどういう関係？ ～「奉仕の理想」をめぐる その1～

ガバナー 本田 博己

今回は「奉仕の理想」についてです。前回、「いきなり核心に迫る次回にご期待」と予告しました。確かに「奉仕の理想」がロータリーの核心なのですが、論点が多く、1回では語り尽せそうもないので、2回に分けてお送りします。

本題に入る前に、前回、「綱領」が「目的」に改訳されたという話をしましたが、「綱領のままでいいじゃないか！」と言う方がいらっしゃったので、もう少し詳しく解説しておきます。

ロータリーは、米国発祥なので英語が原典になることは前回申し上げました。私たちは、普段ロータリーの約束事や手続きについては日本語訳の『手続要覧』を調べて確認するのですが、何を言おうとしているのかよくわからないときは英語版（原典）をチェックすると、文意が了解されることがよくあります。各国の言語はその国の民族的系統と歴史・文化・宗教等を背景として形成されてきたものです。日本語と英語とは、かなり系統の異なった言語なので、言葉の意味が一对一で完全に一致しているわけではない、と考えた方がよい場合が多いのです。訳語を定めるときには、常にそうした問題を意識せざるを得ません。

訳語に疑問がある場合の第1のテストは、その単語を和英辞典で引き直してみることです。例えば、ロータリーの中核となる価値観のひとつ「親睦」を和英辞典で引いてみても原語の“fellowship”には辿り着けません。

“fellowship”の語意は、「仲間であること、仲間意識、仲間としての親交・友情」ということですから、「親睦」を、夜の飲み会やゴルフ・コンペで親しく付き合うことぐらいに思っている日本人は、“fellowship”を英語で理解している世界のロータリアンとは少し違う受け止め方をしているのかもしれませんが。

さて、長く慣れ親しんできた「ロータリーの綱領」は、“Object of Rotary”の訳語でした。しかし、「綱領」を和英辞典で引いても、“platform”とか“creed”が出てくるだけで、“object”には辿り着きません。ロータリーの文献では、“object”は、“purpose”や“aim”と同意義で用いられてきました。

「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある。」となっていた旧訳より、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と改訳した新訳の方が、ロータリーにとって最も重要な目的がここに明記されていることがはっきりするので、適訳であるといえるでしょう。『2013年手続要覧』の日本語版から新訳のみ



が公式日本語訳となります。

*なお、ご案内している新訳に1か所字句の修正があったのでご確認ください。

(下記アンダーライン)

**第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、
社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする**こと；

いよいよここからが今回の本題です。新訳「ロータリーの目的」では、「奉仕の理想」は「奉仕の理念」と改訳されています。この改訳については、いささか議論のあるところですので、しばらくは、私たちに馴染みのある「奉仕の理想」という訳語のまま見てゆきましょう。

今回の新訳で明瞭になったことは、ロータリーの目的は、「奉仕の理想」を奨励し育むこと、の1点であるということです。このことは前回申し上げました。「奉仕の理想」“The Ideal of Service”がロータリー理念の核心を示す言葉であるのなら、「奉仕の理想」の意味がわかれば、ロータリー理念の理解は容易になるはずですが、ところが、「奉仕の理想」の意味をきちんと説明したロータリーの文献がなかなか見当たらないのです。

これまで、RIの『公式名簿』“Official Directory”巻末に記されていたチェスレー・ペリーの言葉「全世界のロータリー・クラブは一つの基本理念—『奉仕の理想』を持っている。それは**他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと**である。」が「奉仕の理想」の意味を示した唯一の記述とされていました。そこで、「奉仕の理想」の意味を解説するときには、これまではどなたもこの言葉を引用してきたのです。

ところが、ずっと古い文献、「奉仕の理想」という言葉がロータリーでキーワードとして盛んに使われ始めた頃に、「奉仕の理想」の意味を説明した記述を見つけました。

それは、1931年にRIが発行した「目標設定計画」(The Aims and Objects Plan)というパンフレットの中にありました。このパンフは1927年に決まった四代奉仕部門の意義と適用の方法を解説したものです。(「四大奉仕部門」の意義については、いずれ改めてとり上げます)

そのパンフの中で、「ロータリーでは、これまで“The Ideal of Service”の意味するところを様々な言い方で表してきました」として、以下の4つの言葉を列挙しています。(原文24ページ)

一つめは、ロータリーの第1モットーである「**超我の奉仕**」“Service Above Self”。二つめは、同じく第2モットーである「**最も良く奉仕する者、最も多く報いられる**」“He Profits Most Who Serves Best”。三つめは、「**他者への思いやり**」“thoughtfulness of others”。四つめは、「**人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい**」“most of all treating others as one would like to be treated”という、聖書にある言葉です。

当時のロータリアンは、「奉仕の理想」“The Ideal of Service”を、以上4つの言葉を包含した意味



に理解していました。あるいは、4つの言葉は、彼らにとって、「奉仕の理想」の内容を示す同意義の言葉であったともいえます。

3つめと4つめの言葉を先に解説しましょう。

「他者への思いやり」という言葉は、これまで多くの方が引用されてきた『公式名簿』巻末のチェスレー・ペリーの言葉、「他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと」と同意です。

四つめの「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」という言葉は、聖書の「マタイによる福音書7章12節」の通称「黄金律」と呼ばれる有名な一節です。この「黄金律」と同様な思想や表現は、キリスト教だけではなく世界中の宗教や古代思想の中にも見られます。

さて、一つめと二つめに戻ります。一つめと二つめの言葉は、それぞれロータリーの第1モットー（標語）、第2モットーとして知られています。

第1モットーは、「超我の奉仕」“Service Above Self”。そして、第2モットーが、アーサー・F・シェルドンの言葉で知られる「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“He Profits Most Who Serves Best”です。ここで重要なのは、初期のロータリアンが、この二つのモットーが「奉仕の理想」の意味を表していると認識していた、ということです。

この二つのモットーの日本語訳については、昔から議論がありました。特に、第1モットーの「超我の奉仕」は「超我」が造語でもあり、カッコよいが意味がよくわからない、といわれていました。日本のロータリーの創始者である米山梅吉翁は、これを「サービス第一、自己第二」とか「自己に先立つサービス」と訳しました。「超我の奉仕」より原義が伝わると思います。第2モットーも、「最善のサービスをすれば、結果として最大の利益が得られる」とでも訳したほうがわかりやすいでしょう。

この2つのモットーは1950年のデトロイト国際大会で公式モットーとして採択され、1989年の規定審議会で、それぞれ第1モットー、第2モットーとして別々に示されることになりました。そして最近では、モットー（標語）といえば、第1モットーの「超我の奉仕」“Service Above Self”だけを示すようになっています。

しかし、初期ロータリアンは、二つのモットーを「奉仕の理想」の意味を示す同意義の言葉として理解し、二つのモットーを一体のもの（セット）として見ていました。

アーサー・シェルドンの論文（『ロータリーの哲学』1921）では、モットーを一つのモットー（a motto）として“Service Above Self—He Profits Most Who Serves Best”と一体化した形で示しており、ロータリーの奉仕概念の真髄を、この「一つの標語」の中の“Service”“Self”“Profit”という3つの概念の本質とそれらの関係を説明することによって浮き彫りにしようとしています。

「決議23-34」（1923）でも同様に、この二つのモットーは、セットで示されています。

決議23-34 第1条

ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴



う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」―の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践倫理の原理に基づくものである。

二つのモットーを全体として一つの主張として捉えると、ロータリー・モットーの真意は次のようになると考えられます。

サービスを自己の利益や都合より優先させよう。利益はサービスの結果である。相手のために最善のサービスをすれば、結果として最大の金銭的な利益と、大きな精神的満足が得られる。

ここで主張されている思想こそ、「奉仕の理想」の核心です。そして、注意しなければならないのは、これは決して利益を求めて奉仕するという「功利主義」的な思想ではなく、他者のために尽くすことが自らの幸せ（喜び）であるという、他者に奉仕すること自体を目的とする「利他主義」の思想だということです。究極の「奉仕の理想」とは、利己と利他の矛盾などない、利己と利他が完全に一致する状態だといえるでしょう。

今回は、「奉仕の理想」の意味について、ロータリー・モットーとの関係に触れながら解説しました。ロータリーの重要概念とされている「職業奉仕」や「四大奉仕」の意義について議論する前にロータリーの中心概念である「奉仕の理想」についての理解を深めておきたかったからです。なぜ中心概念かといえば、ロータリーの目的は「奉仕の理想」を奨励し育むこと、だからです。

次回は、「奉仕の理想」の訳語の問題、そしてロータリーの「奉仕」の意味について、さらに考察を進めます。



第12回 ロータリー日韓親善会議のご案内



2013年10月19日(土)・10月20日(日)

会場:Grand Hyatt Seoul(グランド ハイアット ソウル)



2013-15RI理事 北 清治
2012-14RI理事 松宮 剛
日韓親善会議委員会委員長 今井 鎮雄
連絡幹事 市川伊三夫

第12回ロータリー日韓親善会議ご参加へのお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつもロータリーの奉仕活動にご協力頂き感謝申し上げます。

さて、頭書の会議はロータリー活動を通じ、日本と韓国における、お互いの親睦や国際理解と協力を目指し、ロータリーの発展と世界平和を目的として、昨年東京で開かれた第11回に引き続き、第12回は下記日程にて開催されることとなりました。

21世紀の世界情勢、アジア情勢を展望すると、近隣諸国との協調提携はその国の国勢発展に必須の課題です。一衣帯水の韓国との相互理解を深めるまたとない機会として、是非多くのロータリアンや家族の皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

親善会議プログラム要旨

◆2013年10月19日(土)

15:00 開会式(2日間、同時通訳あり)

17:30 懇親晩餐会

19:30 閉会

◆2013年10月20日(日)

09:30 開会

12:00 昼食

15:10 閉会



ソウル(イメージ)



ソウル(イメージ)

日韓親善会議企画 ロータリー日韓親善会議委員会

※本ページの「第12回ロータリー日韓親善会議」のご案内は既に7月中に各クラブ様へメールでご案内済です。



2013-2014年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

	開催日	項 目	場 所
2012年	10月26日(金)27日(土)	第1回ガバナー補佐会議	ヘルシーパル赤城
	11月11日(日)	疋田年度 R財団補助金・管理セミナー	伊勢崎プリオパレス
	11月29日(木)30日(金)	ガバナーエレクト&次期米山奨学委員長合同セミナー	メルパルク東京
	12月 1日(土)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
2013年	1月 5日(土)	第3回ガバナー諮問委員会・GE壮行会(疋田事務所主催)	桐生市市民文化会館
	1月13日~19日	国際協議会(ガバナー・エレクト)	サンディエゴ
	2月 2日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)(疋田事務所主催)	桐生倶楽部
	2月10日(日)	地区チーム研修セミナー	前橋商工会議所
	3月16日(土)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月17日(日)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月19日(火)	全国会員増強セミナー	ハイアットリージェンシー
	4月 6日(土)	ロータリー財団委員会 合同会議	伊勢崎プリオパレス
	4月14日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
	4月21日(日)~26日(金)	規定審議会	シカゴ
	5月12日(日)	国際ロータリー第2840地区協議会	前橋商工会議所
	5月17日(金)18日(土)	ロータリー世界平和フォーラム広島	広島国際会議場
	5月26日(日)	11:00第2回ガバナー補佐会議 13:00地区会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
	6月15日(土)	第5回ガバナー諮問委員会(疋田事務所主催)	桐生
	6月15日(土)	新旧地区役員連絡会議(疋田事務所主催)	桐生
	6月16日(日)	RAC地区協議会	群馬県昭和田舎
	6月23日~26日	国際大会(本田ガバナーエレクト出席)	リスボン
	6月30日(日)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
	7月 1日(月)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
	7月 6日(土)	インターアクト合同会議	高崎商科大学
	7月 6日(土)	第1回補助金委員会	伊勢崎プリオパレス
	7月13日(土)	第1回ガバナー諮問委員会	音羽の森 音羽倶楽部
	7月14日(日)	青少年交換委員会(夏期交換学生壮行会・歓迎会)	前橋問屋センター会館
	7月21日(日)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part I	前橋問屋センター会館
	7月27日(土)	インターアクト年次大会	高崎商科大学
	8月 3日(土)	10:00 地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス
	8月 8日(木)	管理運営セミナー	前橋問屋センター会館
	8月10日(土)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part II	前橋問屋センター会館
	8月11日(日)	青少年交換委員会(一年交換学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	8月22日(木)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	8月31日(土)	青少年交換委員会(帰朝報告会)	前橋商工会議所
	9月14日(土)	地区米山奨学研修セミナー	前橋問屋センター会館
	9月22日(日)	RLIパート I	前橋問屋センター会館
	9月28日(土)	10:30 第3回 ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	9月28日(土)	13:30 第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	9月29日(日)	地区大会記念ゴルフ大会	サンコー72カントリークラブ
	10月 5日(土)	青少年交換委員会	
	10月19日(土)	青少年交換委員会	
	10月26日(土)	地区指導者育成セミナー	前橋商工会議所
	10月26日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	前橋商工会議所
	10月27日(日)	地区大会	ベシア文化ホール(群馬県民会館)
	11月3日(日)・4日(月)	RYLA研修会	館林
	11月 9日(土)	青少年交換学生選考会	前橋問屋センター会館
	11月10日(日)	RLIパート II	前橋問屋センター会館
	11月16日(土)	10:00 補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス



2013年	12月 1日(日)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 2日(月)	ガバナー会(GETS)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月3日(火)4日(水)	ロータリー研究会	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 7日(土)	米山学友会クリスマス会	前橋商工会議所
	12月 7日(土)	青少年交換委員会	
	12月 8日(日)	RLIパートIII	前橋問屋センター会館
	12月 日(日)	茶の湯研修会	
	12月23日(月)	青少年交換学生クリスマス会	前橋商工会議所

2013-2014年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	1月 6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月 1日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会補欠議員選出	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月19日(土)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月19日(土)	新規米山奨学生カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	4月26日(土)	10:00 地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 新旧地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2013-2014年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予 定 日	開 催 場 所
前橋中央	20	2014年3月 1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月 8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月 5日(土)	伊勢崎プリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
高崎セトル	15	2014年4月	高崎ビューホテル
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央バスタード広場(式典)・前橋リナ(記念事業)
伊勢崎東	20	2014年6月	伊勢崎プリオパレス
藤岡	50	未定	未定



新会員紹介



新会員名 青木 啓介
クラブ 前橋北
入会日 2013年4月8日
職業分類 生命保険業
勤務先 第一生命保険(株)
役職 オフィス長
推薦者 湯澤 晃



新会員名 立見 丈夫
クラブ 前橋北
入会日 2013年4月8日
職業分類 建設業
勤務先 立見建設(株)
役職 代表取締役
推薦者 鈴木 實



新会員名 國岡 充朗
クラブ 前橋北
入会日 2013年7月1日
職業分類 運送業
勤務先 アサカタクシー株式会社
役職 代表取締役社長
推薦者 亦野 高裕



新会員名 嶋田 均
クラブ 前橋北
入会日 2013年7月1日
職業分類 広告業
勤務先 上毛新聞TRサービス
役職 取締役副社長
推薦者 富岡 政明



新会員名 塚越 正浩
クラブ 前橋北
入会日 2013年7月1日
職業分類 旅館業
勤務先 株式会社 塚越屋
役職 専務取締役
推薦者 廣山 武雄



新会員名 羽鳥 知浩
クラブ 前橋北
入会日 2013年7月1日
職業分類 建設業
勤務先 睦建設株式会社
役職 専務取締役
推薦者 亦野 高裕



新会員名 山形 剛
クラブ 桐生西
入会日 2013年6月21日
職業分類 電気器具販売
勤務先 株式会社 A&Z
役職 代表取締役社長
推薦者 根本 正則



新会員名 桑原 隆能
クラブ 桐生赤城
入会日 2013年7月9日
職業分類 電気設備工事
勤務先 桑原電気工事(株)
役職 取締役副社長
推薦者 石川 守人



新会員名 宮澤 秀利
クラブ 伊勢崎
入会日 2013年5月8日
職業分類 人材派遣業
勤務先 (株)エスペランサ・エストレーラ
役職 代表取締役
推薦者 峯岸 則幸・井下 泰伸・奥野 哲司



新会員名 久保 貴則
クラブ 伊勢崎
入会日 2013年7月3日
職業分類 内装業
勤務先 (株)一富士
役職 代表取締役社長
推薦者 板垣 時央・柏井 喜市



新会員名 北爪 功
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013年5月2日
職業分類 商業銀行
勤 務 先 東和銀行伊勢崎支店
役 職 支店長
推 薦 者 山本 清二



新会員名 石原 慎二
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013年6月1日
職業分類 労務管理士
勤 務 先 石原労務管理事務所
役 職 代表
推 薦 者 千吉良 勝美



新会員名 松永 文彦
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013年6月1日
職業分類 電気工事
勤 務 先 マルフク電気株式会社
役 職 常務取締役
推 薦 者 大竹 昌樹・上柿 敬一



新会員名 宮野 孝之
ク ラ ブ 高崎シンフォニー
入 会 日 2013年7月1日
職業分類 紙販売
勤 務 先 (株)亀舩屋紙店
役 職 専務取締役
推 薦 者 阿久澤 公



新会員名 坂原 世紀雄
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2013年7月3日
職業分類 リネンサプライ
勤 務 先 東洋リネンサプライ株式会社
役 職 取締役会長
推 薦 者 立見 壽士



新会員名 佐藤 裕則
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2013年7月3日
職業分類 火災保険
勤 務 先 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
役 職 群馬自動車営業部長
推 薦 者 滝澤 政吉・横田 貞一



新会員名 下平 克宏
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2013年7月3日
職業分類 能楽
勤 務 先 演能の会
役 職 主宰
推 薦 者 梅山 哲・堤 謙治



新会員名 橋谷 晋治
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2013年7月3日
職業分類 タイヤ販売
勤 務 先 プリチストンタイヤ高崎販売株式会社
役 職 代表取締役社長
推 薦 者 滝澤 政吉・横田 貞一



新会員名 高橋 勲
ク ラ ブ 高崎セントラル
入 会 日 2013年6月28日
職業分類 金属加工
勤 務 先 有限会社高富産業
役 職 専務取締役
推 薦 者 高木 賢治



新会員名 吉田 健一郎
ク ラ ブ 高崎セントラル
入 会 日 2013年7月9日
職業分類 贈答品卸
勤 務 先 株式会社ヨシダ
役 職 代表取締役社長
推 薦 者 浜辺 宣昭



新会員名 瀧澤 英一
ク ラ ブ 高崎セントラル
入 会 日 2013年7月16日
職 業 分 類 電子・機器卸
勤 務 先 株式会社成電社
役 職 代表取締役社長
推 薦 者 浜辺 宣昭



新会員名 茂木 智行
ク ラ ブ 太田
入 会 日 2013年6月20日
職 業 分 類 旅行業
勤 務 先 財団法人群馬トラベルセンター
役 職 営業
推 薦 者 竹内 正幸・松本 隆



新会員名 花崎 哲
ク ラ ブ 太田
入 会 日 2013年7月18日
職 業 分 類 銀行
勤 務 先 (株)群馬銀行太田支店
役 職 執行役員太田支店長
推 薦 者 石川 重政



新会員名 北澤 恵美子
ク ラ ブ 太田中央
入 会 日 2013年6月7日
職 業 分 類 美術印刷
勤 務 先 (有)北沢スクリーン印刷
役 職 監査取締役
推 薦 者 高橋 嘉一郎



新会員名 平野 秀樹
ク ラ ブ 渋川
入 会 日 2013年6月6日
職 業 分 類 ファインケミカル製造業
勤 務 先 電気化学工業(株)渋川工場
役 職 工場長
推 薦 者 石田 享史



新会員名 後藤 伸一郎
ク ラ ブ 渋川
入 会 日 2013年7月4日
職 業 分 類 鉄鋼製造
勤 務 先 大同特殊鋼(株)渋川工場
役 職 副工場長
推 薦 者 佐藤 秀樹



新会員名 宮川 陽治
ク ラ ブ 沼田中央
入 会 日 2013年7月4日
職 業 分 類 こんにやく
勤 務 先 宮川商店(有)
役 職 代表取締役
推 薦 者 浅川 忠良



新会員名 栗原恒一
ク ラ ブ 藤岡北
入 会 日 2013年7月1日
職 業 分 類 金属加工業
勤 務 先 (有)桑原製作所
役 職 代表
推 薦 者 深井 正毅



新会員名 村松 雅章
ク ラ ブ 藤岡北
入 会 日 2013年7月1日
職 業 分 類 葬祭業・飲食業
勤 務 先 (有)ムラマツ
役 職 代表取締役
推 薦 者 大塚 慶甫



じえ じえ じえ!
今月は新しい仲間が
いっぱい増えちゃいました
この調子で
宜しくお願いします



訃報 心より哀悼の意を表します。

箱田 明彦 会員

- ・高崎ロータリークラブ
- ・国際トラベルサービス (株) 代表取締役社長
- ・2013年6月3日逝去 享年69歳
- ・1985年4月1日 入会
- ・2004-2005年度会長
- ・準米山功労者
ポール・ハリス・フェロー



箱田明彦パスト会長は、2004-05年度の会長をされましたが、地区補助金を活用された「介助犬レオ」の広報活動が思い浮かびます。高崎市内だけでなく、県内各所から問い合わせのあった小中学校へ、レオと一緒にこまめに出かけられ、介助犬の広報活動に努められました。それも、会長年度だけでなく、継続的に実施されましたことは、頭の下る思いです。

ご病気のため69歳という若さで永眠されましたが、クラブ会員一同、残念な思いで一杯であります。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

高崎ロータリークラブ 会長 富澤 謙吉

川堀 良治 会員

- ・桐生南ロータリークラブ
- ・桐生中央動物病院 院長
- ・2013年6月24日逝去 享年63歳
- ・1993年6月2日入会
- ・2007-2008年度 クラブ会長
- ・2010-2011年度 第2分区A ガバナー補佐
- ・第2回 米山功労者 (マルチプル)



故川堀 良治君 追悼文 (お別れのことば)

「えっ！先生が僕の追悼文を書くの？ 余計なこと書かないですよ！なんて言葉がかえってくるような気がします。

川堀先生は東京からいきなり群馬にいらして、獣医として奥様とお二人で、桐生中央動物病院を開業され、桐生南ロータリークラブへの入会をきっかけに、お友達も増えていったと伺いました。ただ残念なことに、飲み友達お二人が相次いで他界されました。

この時は大変落ち込んでいらっしゃいました。

友達を亡くした哀しみと、痛みに耐えつつ、大事な家族と過ごしたいのご希望をお持ちでした。そして良く頑張りました。これからは3人仲良く例会を開いて下さいね。

桐生南ロータリークラブ パスト会長 高村 利久

田島正夫 会員

- ・富岡中央ロータリークラブ チャーターメンバー
- ・たじま代表
- ・2013年7月8日逝去 享年93歳
- ・2000-2001年度クラブ会長
- ・2003-2004年度 第6分区ガバナー補佐
- ・第3回米山功労者
マルチプルポールハリスフェロー



田島 正夫君を悼む

当クラブのチャーターメンバーにして最高齢の田島正夫君が急逝しました。

前日まで普段と変わることのない行動をしていたのに、突然の病に倒れたのです。

田島さんは百歳ロータリアンをめざし、私たち誰もが確実だと信じていた、お元気そのものの九十二歳でした。クラブに衝撃が走りました。

田島さんは九十歳を超えても山歩きをし、奥様と月二回ほどの全国名所旧跡周りをしていました。ロータリー活動も精力的で、しかも研究熱心、いつもメモ用紙を手放さず、発言も活発でした。クラブにとっても大きな損失です。

今はただご冥福を祈るばかりです。合掌

富岡中央ロータリークラブ 会長 佐藤 真一



文庫通信 (311号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演他より

- ◎ 「ロータリーの奉仕と平和」 朴柱寅 2012 9p (D.2790 地区大会記念誌)
 - ◎ 「国際ロータリー長期計画について」 南園義一 2013 7p (『ロータリーの友』と共に)
 - ◎ 「国際ロータリー 2013 年規定審議会提出立法案採決結果一覧表」 加藤玄静 2013 13p (国際ロータリー 2013 年規定審議会報告書)
 - ◎ 「会員増強をうながす職業奉仕」 田中 毅 2013 11p (2680 地区研修セミナー講演集)
 - ◎ 「国際情勢とロータリーの役割」 羽賀友信 [2013] 2p (D.2560 地区大会記録)
 - ◎ 「ロータリーは宗教か」 進 保政 2013 2p (D.2720 月信)
 - ◎ 「初期ロータリー外史」 鈴木 宏 2013 12p (D.2550 月信)
 - ◎ 「『素晴らしいロータリーへの再生』のために『クラブの活性化』を」 山下皓三 2013 3p (D.2730 月信)
 - ◎ 「再びロータリーとは」 石丸鐵太郎 2013 2p (D.2680 月信)
- [上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎ 「DVD/ 国際ロータリーの進化とその原点～家庭集会(炉辺会合)の一助に」
講師：重田政信 高崎北 RC 2013

[申込先：高崎北 RC TEL(027)330-6060]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



第2840地区 6月出席報告

クラブ数	会員数					
	年初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
47	1,911	1,930	1,877	-53	77	85.11

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	85.07	110	113	111	-2	6
	前橋西	4	84.75	56	54	52	-2	3
	前橋東	4	86.50	67	65	65	0	4
	前橋北	3	93.58	65	67	64	-3	5
	前橋南	5	97.50	36	32	32	0	0
	前橋中央	4	77.94	34	34	33	-1	6
	合計		87.56	368	365	357	-8	24
第2分区A	桐生	3	87.25	67	63	61	-2	0
	桐生南	3	80.00	23	25	23	-2	0
	桐生西	3	93.72	46	52	53	1	1
	桐生中央	3	70.83	24	24	24	0	3
	桐生赤城	3	89.39	42	44	42	-2	5
	合計		84.24	202	208	203	-5	9
第2分区B	伊勢崎	3	90.43	74	74	72	-2	0
	群馬境	3	85.42	29	29	29	0	1
	伊勢崎中央	3	79.80	64	63	64	1	0
	伊勢崎南	4	75.00	25	24	21	-3	1
	伊勢崎東	4	91.94	31	31	30	-1	2
	合計		84.52	223	221	216	-5	4
第3分区	高崎	3	87.57	65	63	61	-2	0
	高崎南	3	74.19	62	62	62	0	5
	高崎北	4	71.06	67	63	63	0	0
	高崎東	3	81.16	35	37	37	0	1
	高崎ソフォニー	3	75.68	36	37	36	-1	4
	高崎セトル	3	80.41	35	34	34	0	0
	合計		78.35	300	296	293	-3	10

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	92.39	63	69	69	0	3
	太田西	4	88.43	17	16	15	-1	2
	太田南	4	81.46	38	39	38	-1	0
	新田	4	81.73	26	26	23	-3	0
	太田中央	4	87.22	42	44	44	0	2
	合計		86.25	186	194	189	-5	7
	第4分区B	館林	4	90.00	46	45	44	-1
大泉		4	84.11	25	27	25	-2	2
館林西		4	92.43	19	21	20	-1	0
館林東		4	85.86	26	25	25	0	2
館林シニアム		4	86.90	24	25	25	0	0
合計			87.77	140	143	139	-4	4
第5分区	渋川	3	96.79	56	55	54	-1	4
	沼田	3	81.10	57	61	60	-1	0
	草津	4	76.00	19	18	17	-1	1
	みなかみ	4	87.25	5	5	0	-5	0
	中之条	4	97.22	23	23	23	0	1
	沼田中央	4	80.63	55	56	51	-5	0
	渋川みどり	3	81.30	44	45	41	-4	2
	合計		85.76	259	263	246	-17	8
第6分区	富岡	4	87.87	49	51	48	-3	4
	藤岡	3	90.37	41	45	43	-2	1
	安中	4	85.58	29	28	28	0	0
	藤岡北	3	89.25	15	14	14	0	2
	富岡中央	4	89.14	41	42	42	0	1
	碓氷安中	4	83.33	14	14	14	0	2
	藤岡南	4	84.73	16	18	17	-1	1
	富岡かぶら	4	80.55	28	28	28	0	0
	合計		86.35	233	240	234	-6	11



ガバナー月信についてのお願い

- ガバナー月信は 2840 地区ホームページ <http://www.rid2840.jp> で閲覧可能です。
 - 出席報告の締切りは、毎月 7 日までです。
出席報告の入力位置がトップページにありますのでご利用ください。
なお、IDとパスワードは各事務所お持ちと思いますが、不明な点は本田ガバナー事務所までお問い合わせください。
 - 原稿の締切りは、ワード文書・エクセル書式・テキスト形式で毎月15日までです。写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
 - 月信の配信は、翌月 1 日に行ないます。
 - 新会員の紹介、訃報のご連絡は、毎月15日までにお問い合わせいたします。
(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載になります。)
 - 新会員・訃報は、略歴・写真を添えて、メールにて本田ガバナー事務所 honda@rid2840.jp までお送りください。また、訃報は会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いいたします。
- ※この月信のPDFデータを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

「ガバナー月信」8月号いかがだったでしょうか？

今月は「会員増強および拡大月間」の特集として牛久保会員組織強化委員長に会員増強について寄稿いただきました。会員増強のためのヒントが満載です。今年度の地区目標を達成するために全会員で実践していきましょう！

また、今月号からパストガバナーの方々のエッセイを掲載させていただきます。

人生経験豊かな方々の深みと温かさのある言葉に感銘を受けること間違いなしです。これからもお楽しみに。

そして、本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」はロータリアンが誤解していたり、理解しにくかったりする用語についてガバナーが分かりやすく解説されています。「なるほど！そうだったのか！」という皆様の声が聞こえてきそうです。

猛暑が続いています。体調に気をつけ、この夏を乗り切りましょう！

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井尚久（前橋RC）

本田ガバナー事務所は下記の間、夏期休暇とさせていただきますので、
よろしくお願ひ致します。

「2013年8月12日（月）～2013年8月16日（金）」

